

# とのおの 議会だより

No.35

2014. 1



## 主な内容 12月定例会

- ◆年始のあいさつ、定例会の概要 ——— 2P
- ◆議会の動き等 ——— 3P
- ◆12月定例会議案審議結果 ——— 4～5P
- ◆行政視察報告等 ——— 6～8P
- ◆予算等審査特別委員会質疑 — 9～10P
- ◆一般質問 9人が登壇 ——— 11～19P
- ◆私のひとこと、編集後記 ——— 20P

## エコ活動がんばってます!! ぼくたち「エコマンKids」

上郷保育園では、「エコ活動」に取り組んでいます。前は、「エコマンKids」。児童館の先生からエコ活動について教わり、廃材を使って制作あそびをしたり、地域の公園や元中学校のゴミ拾いをするなど、自分達で出来るエコ活動しました。昨年の12月には廃油を使った「エコろうそく」作りに挑戦し、ピンクや黄色のきれいなろうそくでのキャンドルサービスでは、自分達で作ったろうそくの灯りを見ながら楽しみました。

新年を迎え、今年も地球に優しい色々な「エコ活動」を頑張りたいと思います!!

# 新年のご挨拶



遠野市議会議長  
新田 勝見

明けましておめでと  
うございます。  
昨年は、市議会に対  
しご提言、ご指導等を  
賜りましてありがとうございました。  
私たちは、二元代表  
制の下に、議会の在る  
べき姿を追求すべく、  
改革の途中でありま  
す。市民の声の代弁者  
という基本を忘れず、  
さらに、市当局と車の  
両輪になれるよう取り  
組んで参りたいと思  
います。  
山積する市政課題を  
一つひとつクリアする

ことが大切だと考えて  
おります。人口減少化  
の中での産業振興と、  
若い人を多く雇用でき  
る環境づくりが急務と  
考えます。議会もその  
ために研鑽を積み、市  
当局と対等に議論を  
し、実りのある政策と  
なるように努め、これ  
からも市民の皆様が、  
安心して暮らせるまち  
づくりのためにまい進  
していきたいと思いま  
す。  
結びに皆様のご多幸  
を祈念し、年頭のあい  
さつといたします。

# 12月定例会

平成25年12月定例会  
が12月6日に招集され、  
13日までの8日間の会  
期が開かれました。  
一般質問には9人の  
議員が登壇し、市政を  
問いました。

制定7件、その他4件  
人事案件1件の全議案  
を審議しました。その  
うち14議案は原案のと  
おり可決し、2議案は  
否決されました。  
また、最終日には請  
願1件を採択、意見書  
1件を可決しました。



活発な質疑が交わされた12月定例会

## 議員発議

今定例会では、1件  
の議員発議案（意見書  
1件）が提出され、原  
案のとおり可決しまし  
た。意見書は、平成25  
年12月13日付けで、衆  
参両議長、内閣総理大  
臣、経済財政政策担当  
大臣あてに送付しまし  
た。可決した発議案は  
次のとおりです。  
● 発議案第17号  
TPP交渉に関する  
意見書

## 意見書

TPP交渉に関する  
意見書

政府は、TPP交渉  
に際し、農産品重要5  
分野の関税撤廃の除外  
等を決議したほか、情  
報開示を約束し、国民  
的議論の重要性を再三  
に渡って強調してき  
た。それにも関わらず、  
TPP首脳会議を前後  
して、農産品重要5分  
野の聖域見直しを容認

## 請願

◆ 請願第5号  
TPP交渉に関する  
請願

〔請願者〕  
遠野市農民組合  
代表者 阿部 喜一  
採択

する動きを強め、保秘  
契約を理由に情報の公  
開を拒否している。  
TPPは、農林漁業、  
医療制度、保険など、  
国民生活に広く影響を  
及ぼしかねない。  
このように、国民的  
議論の不十分さに加え  
て、国益を守る保障  
がなく、情報すら公開  
できないTPP交渉は  
撤退すべきである。  
よって、次の事項の  
実現を強く求める  
〔意見書の趣旨〕  
● TPP交渉の内容を  
国民に開示すること。  
● 農産品重要5分野の  
関税撤廃が除外できな  
い場合は、TPP交渉  
から撤退すること。

※保秘とは…秘密を保持すること。

## 議会の動き

(11~1月)

11月	1日	愛知県安城市議会来遠 皇太子同妃殿下ご訪問 お出迎えお見送り	9日	議員全員協議会 本会議（一般質問）
	2日	全国市議会議長会 第148回産業経済委員会 （東京）	10日	本会議（一般質問） 教育民生常任委員会 予算等審査特別委員会 本会議
	7日	総務常任委員会行政視 察研修（13日、三重 県名張市・愛知県大府 市・千葉県習志野市）	11日	議員全員協議会 議会運営委員会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	11日	産業建設常任委員会 岩手県市議会議長会議 員研修会（盛岡） 市民と議会との「秋の 懇談会」（21日） 沿岸市議会連絡会要望 （盛岡市）	12日	遠野市民新年交賀会 滝沢市議会議長・副議 長来遠 消防出初め式 〔平成26年成人式〕 〔はたちのつとめ〕 交通指導隊初点検式・新 年を語る会 防犯隊初点検式・新年 会
	13日	岐阜県大垣市議会来遠 大分県別府市議会来遠 全国過疎自立促進連盟 第44回理事會及び定期 総会（東京）	13日	議員全員協議会 議会運営委員会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	14日	岐阜県大垣市議会来遠 大分県別府市議会来遠 全国過疎自立促進連盟 第44回理事會及び定期 総会（東京）	14日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	18日	産業建設常任委員会 市政調査会 岩手県市議会議長会議 員研修会（盛岡） 市民と議会との「秋の 懇談会」（21日） 沿岸市議会連絡会要望 （盛岡市）	15日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	19日	沿岸市議会連絡会要望 （盛岡市）	16日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	21日	沿岸市議会連絡会要望 （盛岡市）	17日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	22日	議会運営委員会 議員全員協議会 11月遠野市議会臨時会 宮城県東松島市来遠 長崎県五島市来遠 議員全員協議会 市政調査会 平成25年度大槌山田紫 波線道路整備促進期成 同盟会総会（盛岡） 同議会総会（盛岡） 議員定数・報酬調査検 討特別委員会	20日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	29日	議員定数・報酬調査検 討特別委員会	21日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
12月	3日	議会運営委員会 教育民生常任委員会 本会議	21日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員
	6日	本会議	22日	議員全員協議会 議案（市町村アカデミー） 〔参加者〕 荒川栄悦議員 照井文雄議員 菊池巳喜男議員 瀧本孝一議員

# 市町村議会議員防災特別セミナー

〔研修日〕 11月7~8日  
〔研修場所〕  
千葉県千葉市  
市町村職員中央研修所  
（市町村アカデミー）  
〔参加者〕  
荒川栄悦議員  
照井文雄議員  
菊池巳喜男議員  
瀧本孝一議員

目黒公郎氏を講師に「市町  
村における災害対応力の強  
化と減災」と題しての講演  
があり、終了後、閉講式・  
解散となった。  
定員100人に対して全  
国から自主参加で約170  
人の市町村議員が受講し、  
大災害等があった場合、行  
政の対応には限界があり、  
自分の命は自分で守ること  
が第一であり、地域の自助・  
共助・公助の重要性を再認  
識させられた。  
一日目の夕食を兼ねた交  
流会や二次会も施設内で開  
催され、全国各地の議員と  
知り合うことができ、有意  
義な研修であった。



千葉県千葉市にある市町村アカデミーでの講演風景

# 賛否の表決

議案名		賛成	反対
議案第71号	遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7	10
議案第72号	遠野市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7	10

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	織笠 孝之	菊池 邦夫	菊池 民彌	佐々木 讓	多田 誠一	安部 重幸	石橋 達八	浅沼 幸雄
○：賛成 ×：反対 －：棄権	×	○	×	×	×	×	－	×	×	－	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対、－は棄権  
 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。議案第71号及び72号以外の案件は全会一致で可決されています。

**賛成討論**  
 約30年先には本市の人口は約1万8千人まで減少が予測されることから、市民も共通の課題に取り組み、若者定住や雇用確保、交流、

**賛成討論**  
 約30年先には本市の人口は約1万8千人まで減少が予測されることから、市民も共通の課題に取り組み、若者定住や雇用確保、交流、

**反対討論**  
 当市の平成24年度決算について企業会計的手法により分析した結果、総じて標準的であり、財政の健全性が保たれている。  
 特別職でも「常勤」である市長及び副市長は、平成17年10月以来変わらない金額であるが、それを一般的に減額する例は責任問題等による調整であり、東奔西走頑張っているのに減額すべきではない。報酬等審査委員会の議を経ながら対応すべきだ。  
 菊池 邦夫議員

**反対討論**  
 遠野市特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**賛成討論**  
 約30年先には本市の人口は約1万8千人まで減少が予測されることから、市民も共通の課題に取り組み、若者定住や雇用確保、交流、

**賛成討論**  
 約30年先には本市の人口は約1万8千人まで減少が予測されることから、市民も共通の課題に取り組み、若者定住や雇用確保、交流、

**反対討論**  
 人口減少対策をはじめ市政課題は山積している。課題解決に向けて精一杯頑張っていたが為に市長、副市長の報酬減額に反対する。正規の報酬で頑張っている事の方がおかしい。東日本大震災では、後方支援活動を大々的に展開した事を評価し、さらなる活躍を期待する。  
 荒川 栄悦議員

**反対討論**  
 定住人口拡大に向けた産業振興の更なる強化策が必要である。支え合うまちづくりの為、減額に賛同する。  
 織笠 孝之議員

# 11月臨時会議案審議結果

議案名		結果	
		賛成	反対
議案第64号	国体記念公園市民サッカー場A面改修工事の請負契約の締結について	全員賛成	
議案第65号	副市長の選任につき同意を求めることについて 菊池 孝二氏	同意	
議案第66号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 中浜 艶子氏	同意	
議案第67号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 藤澤 俊明氏	同意	
議案第68号	監査委員の任命につき同意を求めることについて 佐藤 サヨ子氏	同意	

# 12月定例会議案審議結果

議案名		結果	
		賛成	反対
議案第69号	遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第70号	遠野市民センター条例の一部改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第71号	遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7	10
議案第72号	遠野市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7	10
議案第73号	遠野市福祉医療資金貸付基金及び遠野市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第74号	遠野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第75号	遠野市宮牧野条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第76号	岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について	全員賛成	
議案第77号	東日本大震災に係る原子力損害の賠償に関し和解のあっせんを申し立てることについて	全員賛成	
議案第78号	遠野市立遠野中学校校舎（第2期）改築（建築）工事の請負契約の締結について	全員賛成	
議案第79号	遠野運動公園多目的運動広場改修工事の請負契約について	全員賛成	
議案第80号	平成25年度遠野市一般会計補正予算（第3号）	全員賛成	
議案第81号	平成25年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
議案第82号	平成25年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
議案第83号	平成25年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	
議案第84号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 菊池 貞光氏	同意	
発議案第17号	T P P 交渉に関する意見書の提出について	全員賛成	

# 教 育 民 生



宮崎県日南市立北郷小学校での研修風景

【視察日程】  
10月29日～31日

【視察研修先】  
鹿児島県志布志市  
宮崎県日南市

◆有機栽培野菜を利用した学校給食について

志布志市は、鹿児島県の東部、大隅半島の付け根部分に位置する。同市では、市内で生産された安心安全な野菜を食べてもらおうと、志布志市有機部会や学校給食センターと昨年より協議を進め、25年4月から学校給食で使用する野菜の一部を有機部会の野菜に切り替えてスタート。使用する野菜は、給食センターに当日の朝に届ける方式とし、給食全体の有機栽培野菜の使用量はまだまだ少ないが、有機栽培野菜を多く使った野菜カレー

◆幼小中一貫教育の取り組みについて

日南市は宮崎県の南部に位置している。同市では、幼稚園と保育所の機能を融合した「認定こども園」として就学前の「幼児教育」を行なうとともに、小・中学校では施設一体型として系統性・一貫性のある幼小中一貫教育を認定こども園と共に同一敷地内に施設を整備し、「幼小中一貫教育」を進めている。教育理念として「共に学び、共に創り、夢を叶える学園」を掲げ、「社会に有為な人材の育成、先送りしない教

育の実践、地域に根ざした特色ある学校づくり」を3つの柱としている。このことにより、継続的な学習指導や生活活動を展開でき、児童生徒個々の資質や能力を伸ばし、無理なくステップアップできることである。また、教職員も小中

学校の連携を深め、校種間の指導の違いや教育観の違いを互いに理解し合うことにより、授業や活動の円滑な運営を図ることができるとのことで、当市でも参考にする点が多々あると感じた。



説明員の発言に熱心に耳を傾ける委員たち

# 総 務

【視察日程】  
11月11日～13日

【視察研修先】

三重県名張市  
愛知県大府市  
千葉県習志野市

◆名張市のゆめづくり地域予算制度の取り組み

名張市では、平成15年4月、まちづくりを「住民が自ら考え、自ら行う」ことを目指し、市民参加の基に誰もがいきいきと輝いて暮らせる地域づくりのため「ゆめづくり地域予算制度」を創設した。制度の内容は、地区公民館等を単位とする15の地域組織に対し、市が「ゆめづくり地域交付金」を交付し、住民主体のまちづくり活動を支援し、住民の合意により実施するまちづくり事業であれば、ハード、ソフトは問わ

ないというものであり、この交付金により公民館事業運営も行われている。

この制度の成果として上げられることは、地域課題を住民自らが考え解決する意識が向上したこと。行政区、自治会に対する意識が高まり、誰のため、のまちづくりなのかを考える意識改革がなされてきたことなどという。

◆大府市のウェルネスバレー構想

ウェルネスバレーとは、大府市と東浦町にまたがる「あいち健康の森」とその周辺エリアのことを指し、この区域には、国立長寿医療センターやあいち健康プラザをはじめ、健康・医療・福祉に関する施設が多数立地し、健康長寿分野において全国でも有数の集積地

となっている。この構想は、健康長寿の一大拠点の形成によって、子どもから高齢者まで幸せに齢を重ねられる社会「幸齢社会」を目指すものである。

具体的には、ウェルネスバレーの土地利用は、医療福祉ゾーン、健康交流ゾーン、健康生活ゾーン、健康産業ゾーンの4つのゾーンに区分され、医療福祉ゾーンは、医療福祉施設などの健康長寿をテーマとした施設や研究所等の誘致を行う。健康交流ゾーンは、体験農園、心身障がい者等のリハビリテーション機能を持った福祉農園、学校教育の場として活用する食育農園など、リゾート機能を合わせ持った土地利用を指すなどの計画となっている。

◆習志野市の公共施設再生計画基本構想

習志野市の市役所本庁舎等の公共施設は、築後50年近く経過している建物もあり、多く

の施設が耐震性能や老朽化の問題を抱えており、建て替えや大規模改修の時期を迎えている。現状の投資的経費では、必要な事業費を確保することが困難であり、今の予算規模で現状の施設修繕を行っていくと20年後には築50年以上の建物が40%を占めることとなることから、公共施設再生計画を作成し、公共施設の再生に取り組んでいく。

再生基本方針として、「施設ありき」の考え方でなく、施設の「機能」を重視し、「機能」はできる限り維持しつつ、「施設」は削減していくという考え方を基本としている。その手法として、再生す

る施設は、多機能化・複合化を進めている。今回の研修では、コミュニティ支援、健康長寿、公共施設の老朽化再生について学んできたが、この3つのテーマは当市においても

共通課題であり、興味深く拝聴してきた。



習志野市役所（仮庁舎）での研修風景

# 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は多田誠一議員、副委員長荒川栄悦議員）は、条例7件、予算4件、その他4件について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、付託された15議案のうち、13議案が原案のとおり可決・承認されました。

産

業

建

設



盛岡河川漁業協同組合の説明員の話に熱心に聞き入る委員たち

【調査日】  
11月15日

【調査先】  
盛岡河川漁業協同組合

◆築川の環境保全の取り組みについて  
◆漁業振興について

9月に高知県で開催された「鮎の味」で、

この大会は、全国23道府県の50河川から天然鮎2,597匹が応募され、270人により審査された。鮎は水中の石に付いたコケを食べて成長し、鮎独特の香りにつながるという。河川の環境によって鮎の味が異なることを理解してもらうために開催される大会であり、鮎の味だけでなく

川の水質を競う第16回清流めぐり利き鮎会において、岩手県から出品された釜石市の甲子川と盛岡市築川の鮎が準グランプリを獲得した。当市でも河川の悪化が進み、魚族等の生態系に影響を及ぼしていることが問題となっており、山林と川の自然環境が類似す

る築川の実態を研修するため、盛岡河川漁業協同組合（吉田久孝組合長）を訪ねた。築川は、25年8月の豪雨を受けながらも4度目の挑戦で2年ぶり2度目の受賞に輝いた。例年に比べ漁は不調だったものの、味には自信を持っており、川（自然）に関心を持ってもらうことを目的に、従来から利き鮎会に参加してきたとのこと。

また、同漁協では週上する鮎の捕獲が許可（県下13河川）されており、採卵、孵化、養殖に取り組み、毎年津川に市内子供達による放流を継続している。築川ではカジカの産卵場を設け、その結果生息数が増えているとのこと。漁協では河川工事の際に、護岸を単なるブロック積みでなく、子供達が鮎の放流や日常の親水の場となるように国土交通省に要望しており、漁協の許可があった場合のみ工事可能となっている。

ながら築川の流れる証にもなっているというのである。築川は流域住民の意欲の下にきれいな自然環境が残っている。また、同漁協では週上する鮎の捕獲が許可（県下13河川）されており、採卵、孵化、養殖に取り組み、毎年津川に市内子供達による放流を継続している。築川ではカジカの産卵場を設け、その結果生息数が増えているとのこと。漁協では河川工事の際に、護岸を単なるブロック積みでなく、子供達が鮎の放流や日常の親水の場となるように国土交通省に要望しており、漁協の許可があった場合のみ工事可能となっている。



盛岡市を流れる築川の清流

【盛岡河川漁業協同組合の概要】			
●組合員	164名	（発足当時は全戸数が加入していた）	
●組合費	年間5,000円	日釣券 年600～800件（全種）	
●稚魚放流量（H25年度）			
鮎	400kg	37,000尾	
ヤマメ	297kg	33,850尾	
イワナ	64kg	2,900尾	
●鮎（H24年度）	425kg	185,000尾	
●ヤナ	5年目	8名で構成	昨年400kg収穫

キャトルセンター稼働を目前にした課題への対応は

キャトルセンターが一部供用開始されると聞くと、稼働はいつからか。

26年度から開始を予定している。25年度においては、公社が飼養する牛を試験飼養する。

運営においての職員体制は、すでに研修を実施しており、そうした人材を中心に対応する。

農家のセンター利用について把握しているのか。

きめ細かい農家への説明対応を基本にしながら増頭意欲に応えていきたい。

高齢消費者被害防止対策事業の中身は

新規事業の高齢消費者被害防止対策事業費の中の委託料の内容は。



一部供用が開始された大野平キャトルセンター

高齢者が消費者被害にあっている現実があり、それを未然に防ごうという事業で、委託先は市シルバー人材センターを予定している。内容は高齢消費者に対する電話での定期的な注意喚起や被害の有無の確認等で、人件費が約半分、他は事務経費・電話料金等である。

市内の高齢消費者について、報道されているような詐欺被害等の実態は把握しているか。

市に消費生活に関する相談窓口があり、件数は23年から年間600件ほど寄せられ、そのうち半数は60才以上で、高齢者の相談や被害は相当数あるのではないかと。100

万単位での詐欺や被害にあつたという高齢者の事例も聞いている。独居や高齢者だけで、関係部署と連携を取り合い、啓発や被害の未然防止に努めるべきでは。

委託事業者だけでなく、消費生活部門・高齢福祉担当・警察・消防などのチームに加え、民生委員や在宅介護センターの相談員なども協力体制を強化していく。

民生委員の退任者にやる組織の必要性は

今回の改選状況は、民生委員114名、中新任者が49名、再任者が65名である。

49名が退任した訳だが、市内における限られた人材で守秘義務を伴いながら地域福祉行政の一役を担ってこられた方々が、今後も経験を活かし、民生活動をサポートする

組織の必要性を強く感じるが、活動に苦慮していることもあり、地域においてバックアップする組織があれば、経験を活かし、幅広く活かすことができる。良い提案であり、早速検討を進めていく。

この事業は出産関係の調査と理解して良いか。また、その内容は。

周産期医療に既につけては、既に助産院ネットワークが確立しているが、今回の事業は有識者の先生方に調査をお願いし、遠野市の現状や将来的な見通しを立てる時に助産院を今後どう進化

子育てするなら遠野構想調査事業とは

【お詫び】 議会だより34号の8頁、「秋の懇談会」は「春の懇談会」の誤りでした。また、21頁「減殺」は「滅災」の誤りでした。お詫びして訂正します。

# 市政を問う

(文責本人)



佐々木 大三郎 議員  
(清風会)

## 企業誘致対策の方針は

## 防犯灯整備の考えは

### 一問一答方式

**問** 誘致企業への優遇制度(固定資産税の免除や奨励金・補助金の支給等々)の適用範囲に

**答** 企業誘致担当として1名配置しているが、商工観光課の総力をもつて対応しある程度の成果を上げている。しかし、対応面で不足な点もあるので平成26年度の人事異動により体制整備を図りたい。

**問** 雇用の拡大と若者定住・少子化対策として企業誘致に力を入れるべきであるが、そのためには組織の強化(人員の増強や専担者配置)が必要と考えるが。

**問** 企業が求める人材確保に、市内の企業に就職し一定期間以上勤めた者には奨学金返済の一部を免除するよ

**答** 優遇制度は、企業誘致に大きな効果があることから製造業やIT企業だけに捉われずあらゆる業種に拡大する方向で検討する。



電気料金が安くなり、カメムシ被害も軽減されるLEDの防犯灯

**問** 防犯灯は、通学ルートや生活道路に変更が生じてきていること

**答** 有能な人材が地元に戻り家族と一緒に住みながら仕事ができることは望ましいが、奨学金制度の利用者と利用しないで頑張ってきた者との不公平感をいかに無くすかを検討する必要があります。

**答** LED化については、電気料金が相当節減され、カメムシ被害も減ることから交換の実現に向け市長会等を通して国へ強く働き掛けることにする。

**問** LEDへの変更により電気料金が大幅に安くなり、カメムシ被害も減ることから交換を検討すべきと考えるが。

**答** 通学ルートはもとより区画整理や宅地化が進んでおり、また、防犯灯の維持管理と日常点検は自治会や防犯協会で行っていることから設置場所の検討・見直しに当たっては、官民一体となった調査・検討が必要である。なお、危険性があるものについては随時修繕をしている。

### 農業振興における体制強化は

どういった方向が望ましいのかについて、市内のワーキンググループと連動させて進めるためのものである。

**問** 先般の臨時国会の議論では、企業が農地を取得する際に農業委員会の権限を緩める方向にあるが、この事に対する考えは。  
**答** 農村の現場の実態とかけ離れた議論であり遺憾なことと考える。また、米の生産調整の撤廃や、企業が農地を取得する際に農業委員会の許可が不要であること等が話し合われているが、農業委員会がなくなってしまうえば耕作放棄地は限りなく増えることも危惧されるので農業委員会の重要性を関係者に認識して欲しい。

### 原木しいたけの現状と今後の対策は

**問** このまま出荷規制が続くと農家の気が薄れる。市独自の予算を確保して対応すべきでは。人工ホダ場造成も有効的方法では。  
**答** 出荷停止時点で市内には約40万本のホダ木があつたが、その内13万本が汚染により処分されることになる。県は現在よりも多くの検体採取で、100ベクレルを下回った生産者の出荷再開に向け考えている。人工ホダ場の造成も検討しながら生産者を支援していきたい。



遠野の原木しいたけ

**問** しいたけ放射能汚染の状況は。  
**答** 24年5月から放射能100ベクレル超で出荷停止になつて

### 除排雪対策の見直しを検討しては

**問** 道路除排雪のあり方について、担当課のみならず部署間の連携や市民への周知及び協力を頂く等の検討が必要では。  
**答** 市では、平成23年6月に市で除雪対策検討委員会を立ち上げ、同年12月に提言をまとめており、その中に市民協働による除雪

**問** このまま出荷規制が続くと農家の気が薄れる。市独自の予算を確保して対応すべきでは。人工ホダ場造成も有効的方法では。  
**答** 出荷停止時点で市内には約40万本のホダ木があつたが、その内13万本が汚染により処分されることになる。県は現在よりも多くの検体採取で、100ベクレルを下回った生産者の出荷再開に向け考えている。人工ホダ場の造成も検討しながら生産者を支援していきたい。



よりきめ細やかな対策が望まれる除雪業務

### 防災行政無線デジタル化のメリットは

**問** 無線のデジタル化によるメリットはどのようなものがあるか。  
**答** 消防・救急無線においては、写真等のデータ送受信も可能となる。消防団へは、無線機と受令機の台数を大幅に増設・配備することで、きめ細かなネットワークを構築できる。また、旧市村の無線周波数の相違を解消することで、遠野市の全エリアをカバーすることが可能。主要な庁舎、地区センターには半固定式の無線機を配備し、いち早く災害対策本部等に連絡できる。

**問** 今回の無線のデジタル化によって、無線の通じる範囲が拡張されるのか。  
**答** デジタル化による移動局により不感地帯をカバーするため、これまで以上に交信範囲が広がることになる。

**問** 今回の無線のデジタル化によって、無線の通じる範囲が拡張されるのか。  
**答** デジタル化による移動局により不感地帯をカバーするため、これまで以上に交信範囲が広がることになる。

**問** 消防・救急無線においては、写真等のデータ送受信も可能となる。消防団へは、無線機と受令機の台数を大幅に増設・配備することで、きめ細かなネットワークを構築できる。また、旧市村の無線周波数の相違を解消することで、遠野市の全エリアをカバーすることが可能。主要な庁舎、地区センターには半固定式の無線機を配備し、いち早く災害対策本部等に連絡できる。



菊池 充 議員 (無党派)

一問一答方式

【その他の質問】  
◆少子化対策の取り組みについて

### 国の米政策見直しに伴う市農業政策への影響は

年後には廃止する。米価変動補てん交付金は、来年度から廃止するというものであり、直接的な影響としては、変更される交付金の減額で、昨年度実績でみると遠野市全体として1億1,400万円強の農家所得の減少となる。情報収集に努め、関係機関と連携し、適切な対応を行っていきたい。

中山間地域において小規模農家による営農は必要不可欠であり、また、地域コミュニティの維持・発展においてもなくてはならないものと捉えている。小規模農家と大規模農家が連携した農業を目指していきたい。

地域社会においては、まだまだ農業が地域を支えているのが実態だと認識している。よって、社会情勢の変化への対応が必要なことは理解するものの、国土の保全、多面的機能の維持を図っていく上からも、行政、生産者団体、農家の三者連携を強め、今回の改正を見据え、総合力をもって行動を起こしていきたい。

### 米の直接支払い交付金の減額による影響は

問 国の米政策見直しに伴う農業政策への影響を伺う。

答 転作への交付金が十分確保されるのか。主食用米の計画的・安定的な生産調整機能を実

現できるのか、などの課題があり、生産現場での検証と具体的支援施策が必要となる。関係機関と共に、意欲ある多様な農業者すべてが農業を継続できる施策を講じていかなければならない。

問 米の直接支払い交付金の減額による影響を伺う。

答 交付金は10a当たり15,000円を半額の7,500円にし、5

答 飼料用米の拡大を考えた場合、安定的な販売先の確保、専用保管施設、加工施設等の整備など課題も多いが、畜産振興策と連携するなど、拡大への必要な方策について生産者、関係機関と十分検討を行いながら取り組みを進めていく。

問 農地集積が困難な小規模農家や中山間地域対策について伺う。



今後の農地の維持管理が厳しくなる中山間地域の水田

は現時点の給付費8.9兆円から21兆円に増加するとの推計があり、制度の見直しは必要である。政府の動向を注視している。

問 遠野物語発刊100周年記念式典挨拶で嶋田正義福崎町長は「名誉町民である柳田國男をこんなにもだいに評価している遠野市があることに感銘を受けた。」といった内容の挨拶があった。柳田國男の生地兵庫県福崎町との交流を深めるべきと思うが、市長の見解を伺う。

答 先般、柳田國男の生地兵庫県福崎町を訪問し、町長とも懇談してきた。私自身福崎町との交流は意義のあることと捉えている。福崎町長も交流を望んでいるようである。どのような形で交流ができるか担当課に検討させる。



小松 大成 議員 (無党派)

一括質問方式

### 現行介護保険制度への市長の見解は

### 柳田國男生誕の地兵庫県福崎町との交流は

問 「特定秘密保護法案」が国会で成立した。この法律は、政府の長が「特定秘密」と指定した秘密事項を漏洩した公務員のみならず、広範な国民を厳罰で処分するといった基本的人権を定めた憲法違反の法律であり、許せない。市民生活にも少なからぬ影響を及ぼすとされる「特定秘密法」が成立したが、市長の見解を伺う。

答 国際競争が激化する中で、国の秘密を守ることにはある程度必要なこと。しかし、法律の成立まで、十分な議論を尽くしたとは言えない。



兵庫県福崎町にある柳田國男の生家

問 厚生労働省の社会保険審議会介護保険部会が意見書案を大筋まとめた。この意見書案は従来の介護保険制度のあり方を大きく塗り替

いのではないか。国は十分な説明を行い、国民の不安払拭に努力するべきと考える。

答 現在の介護保険制度のまま推移すると2025年には介護給付費

えるものといえるが、根幹をなす考えは「自助努力」と称して国民や地方自治体に負担増を押しつけるものとなっている。市長の見解を伺う。



荒川 栄悦 議員  
(清風会)

一問一答方式

【その他の質問】

- ◆SLプロジェクトについて
- ◆駅前通りの整備について

有機農業の推進と支援を強くアピール

農業振興における循環型農業や有機農業の今後のあり方は

**問**.....  
農業振興における循環型農業や有機農業の今後のあり方について伺う。

**答**.....  
当市の農業生産体系は、コメや野菜、工芸作物の耕種と、和牛の繁殖・肥育や酪農の畜

産との複合経営が多いが、耕種農家と畜産農家が連携した、有機堆肥と牧草や稲わらの相互供給・利用も行われている。タフビジョンにおける耕畜連携を柱に据えた循環型農業の推進は、大切であり力を入れていく。

とであり、現在は90%の稼働率である。今後大型肥育牧場や、キャトルセンターからの排泄物処理が課題となる。現在の処理能力では間に合わないため、別な処理方法を考えた。また、堆肥の品質管理上、人員配置についてもマンパワーとしての常勤職員の確保が

課題であり、ミスマッチにならないよう解決策を探る。更に、今後の堆肥センターやキャトルセンターの運営管理も畜産公社に指定管理ということも含めて雇用や若者定着という観点からも検討の対象となる。堆肥センターの堆肥利用による有機農業についても、有機農業推進法に則り、実証田の結果も踏まえて、市でも取り組んでいる。遠野あぐりスクールにおいて、減農薬、減化学肥料栽培による生産及びほかし肥料の作り方の講習を開催した。また、環境保全型農業直接交付金制度を導入し、2名の農業者がその制度を利用して有機農業に取り組んでいる。



新年から稼働する大野平キャトルセンター

このような取り組み情報等を丁寧に発信し、支援をしていきたい。市内には、こだわりの農業生産に取り組む農業者等があります。自ら工夫し行動することが大事だと思う。有機農業における農産物の

差別化による収入増が図れるならば、過疎化、高齢化、が徐々に解消され後継者も育つと思われる。今後、タフビジョンに依り有機農業を強くアピールしていく。



瀧本 孝一 議員  
(新興会)

一括質問方式

公文書の保存や廃棄の実態は

こども自然公園の整備の必要性は

**問**.....  
本市の公文書の保存や廃棄の実態は適切に処理されているか。九州のある自治体で、保存されていない場合はならない平成の合併時の大事な史料が廃棄されていたという実態が報道されたが、本市にはそのような事例はないか。

**答**.....  
旧市・村の合併の資料については、当市の文書取扱規定により永久保存に分類されることから、大切に保管しており、廃棄している事例はない。合併に係る一連の事務処理関係の簿冊約300冊や、「新遠野市誕生 遠野

市・宮守村合併の記録」という冊子も作成し、後世に残す貴重な資料として、昨年度旧法務局の建物を買収して設置した行政文書館に保存している。この行政文書館には、非常勤職員の行政文書調査研究員1名と、緊急雇用創出事業を活用した臨時職員1名を配置し、全壊した庁舎中央館4階の書庫や旧家畜保健所の書庫



後世に歴史をつなげる公文書が保存・管理されている遠野市行政文書館

に保存していた行政文書を移管して作業を行っているが、整理・保存・保管・公開の仕組みを確立し、天草市の取り組みなども参考にしながら、適正な保存管理体制の一層の充実に努めていく。

**問**.....  
市内には幼児や子どもから大人まで、安心

**答**.....  
市内の公園は、都市公園法に規定する都市公園としての遠野運動公園などの3カ所、街区公園5カ所や農村公園等を整備して、市民に安全で安心して利用してもらえようよう管理運営に努めている。提案のあった既存の地域資源に併設するような形で公園整備については、高速道路や交通インフラの整備が進む中、今あるものに新たな役割を組み込み、遠野に行けば大人も子どもも楽しめるという場所を作っていくことは大事なプロジェクトとして位置付けている。





石橋 達八 議員 (無会派)

一括質問方式

起業総合支援センターの創設は

「心の体温計」のシステム導入の考えは

問 人口減少の歯止め策や定着を図るためにも、地域産業の振興が求められる。遠野で創業を志す若者や女性、市外から創業を希望する方を支援する拠点の必要性はないのか。

答 現在、当市では、産業振興に関する制度や施策の専門知識を持つ経済産業省東北産業局の職員3名を産業振興アドバイザーに委嘱し、起業の際の補助金等、産業振興活用施策について具体的指導、

助言を頂いている。また、商工観光課に起業を希望する方の相談、起業の雇用ニーズ等の情報収集、求職者やU・Iターン希望者の就職支援、雇用、労働に関する相談にも対応している。

問 不在者投票に「外部立会人」制度の導入が市内7施設中1カ所で行われる。



和やかな雰囲気のなか行われたICT健康塾参加者の集い

問 「心の体温計」のシステムは、市のホームページにアクセスし、簡単な質問等に答えることでメンタルな健康を診断できる。うつ病対策、自殺予防対策、いじめ対策など、事態が深刻になる前の手段として寄与するとされる。導入の考えはないか。

答 本年6月30日から公職選挙法等の一部を改正する法律の施行に伴い、「外部立会人」を

実施したのは県内13市中、当市のみであった。今後の課題として、関係機関と連携を図りながら、外部立会人制度の充実に向け、努力していく。



織笠 孝之 議員 (遠野一新会)

一問一答方式

※ダストドラム方式とは…各種の収集車で収集された一般廃棄物をダストドラムに貯留し、大型パッカー車に積み替えて輸送する方法のこと。

(仮称)岩手中部広域クリーンセンター遠野中継施設の今後の状況は

市エネルギービジョン策定プロジェクトとは

問 中継施設の着工・供用開始の時期はいつか。

答 26年2月に地区基地に係る契約議決を受けてから工事着工をし、27年10月に供用開始となる。

問 ダストドラム方式でゴミ処理をすることによって、近隣地域居住環境へどんなメリットがあるか。

答 ドラム内でゴミの一時貯留が可能なので、一時的なゴミの増量にも対応できる。ゴミピットに溜めると悪臭の原因になるが、ダストドラムであれば悪臭を抑えることができる。



綾織町にある遠野市清養園クリーンセンター

問 放射能汚染牧草の処理について、その見通しと構成市町との具体策は。

答 11月15日現在、汚染牧草約300tの焼却処理を終え、現在のペースでは処理完了まで4年間掛かる予定で、クリーンセンターの利用開始後の対応を4市町長や関係機関と協議を進めている。

問 エネルギービジョンのプラチナ構想とは。

答 プラチナ構想とは、前東京大学総長の小宮山先生が提唱したもので、全国が一緒になって、新エネルギー活用策を模索しようというものである。

問 遠野の地域特性を活かした新エネルギー導入は何か。

答 新エネルギーへの取り組みは、今までも議会で議論されており、よく見極めて展望を見つけていく。



浅沼 幸雄 議員 (新興会)

一問一答方式

再生計画的なものを策定する必要があるか。現状を把握しながら、市民や議会と議論と検証を重ね、対策療法ではなく中長期的な視点から出口をきちんと見据えた計画を策定し、急ぐべきは急ぎ、対応すべきは対応しながら施設の利活用と維持管理に尚一層の努力をしていく。

答……………

再生を大きなキーワードとして施設(財産)をどのようにしてよみがえらせるかが、財政が厳しいなか大変重要な切り口であり、その際に市民・議会・行政が同じ視点に立って議論・検証することは大変大事であると考えます。

問……………

老朽化が進む公共施設について、中長期的な視点から機能の確保・配置・効率的な管理運営等の出口戦略としての公共施設



老朽化対策が求められる公共施設 (写真:宮守体育館)

いる。このような現状を把握する事は重要であり、現在担当部では様々な施設の実態把握、いわゆる白書の作成を進めており、その作業も大部進んでいると認識している。

て、公共施設の老朽化対策と効率的な利活用は全国の地方公共団体共通の課題として位置づけられている。当市ではこれまでも改築・改修・修繕等により適切な維持管理に努めてきているが、長い時間の経過と共にあちこちいたみ出して

問…………… 当市の公共施設の老朽化対策を含めた見直しを検討するためには、まず実態の把握が必要と考えるが。 答…………… 少子高齢化・人口減少というなかにおい



菊池 巳喜男 議員 (清風会)

一問一答方式

災害対応の取り組み状況と強化策は

「災害対策基本条例」制定の必要性は

問…………… 災害から、市民の生命や財産を守るため、市民・地域・行政の役割をどのようにするか。

答…………… 災害対策の基本は「自助」であり、自らの生命は自ら守るといふ備えが必要で、情報の入手・防災訓練等への参加・家具等の転倒防止・水や食料等の備え・避難経路の確保等が重要。地域の協力には、自主防災組織の存在が重要であり、現在、組織結成率が96%であり、100%の結成を促進する。

問…………… 4年の任期の中で進める「10・とおの約束」の中で「備えあれば憂いなし」という公約を掲げ、「防災・減災まちづくり宣言」と条例化を目指し、作業に入っている。3月議会に条例の制定を提案したい。

問…………… 国は、情報提供の手段として、防災行政無線と音声告知放送による放送、さらに市内で情報を受信できるエリアメール、市外で情報を発信できるモバイルメールを配信している。

問…………… 要援護者名簿作成が義務化されたが、進行状況はどうか。

答…………… 90行政区中89行政区で既に災害時要援護者リストを作成し、市と各地域が情報共有。災害発生時は区長や民生委員らが安否確認や避難誘導に当たり、防災訓練でも要援護者の安否を盛り込み万全を期す。

問…………… 国の補助事業に採択されたことから、2分の1の補助を受け平成26年度までに整備を進めることとしている。携帯電話向けの防災メールとの連携はできないか。

答……………

問……………

答……………

問……………

答……………

問……………

答……………

問……………

災害時の要援護者支援として、改正災害対策基本法の成立を受け



達曽部で実施した住民の防災訓練

# わたしの ひとこと



高橋 富美和 さん  
( 穀 町 )

遠野で暮らすようになり4年目を迎えました。実は、それ以前から弟が土淵中学校で半年程仕事でお世話になっていた事もあり、時折実家の西和賀町から遠野に通っていました。その時はまさか自分が遠野に住み、仕事をし、遠野の人と結婚することは夢にも思っていませんでした。私も弟と同様に遠野で働くことになり、兄弟で遠野にお世話になることになりました。以前からスキー仲間だった奥さんに沢山の人達を紹介してもらい、また、紹介してもらった人達から良くしてもらい楽しく暮らしています。いいことばかりが続ぎ、遠野には本当に神々が棲んでいるんだと感じました。

私を暖かく迎えてくれた人達に本当に感謝しています。25年11月に子どもが産まれ、それまでは人ごとのようにみていた子育てに関しても、実際に子育てに携わる様になり、市全体で子育てをサポートしていく取り組みのすばらしさには感激しています。

最後に、観光資源がたくさんあるのに、それを活かしていない部分がある様に感じます。資源を活用し、宿泊施設などの充実に期待したいものです。

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

## とおの議会だより クイズ

○欄に適切な言葉を入れてください。

- その①** 平成 25 年 12 月定例会で提案された条例案の数は計○件。
- その②** 平成 25 年 12 月定例会で提案された議案第 71 号の審議結果は賛成○・反対○。
- その③** 約 30 年後の遠野市の人口は約○万○千人と予想されている。

この議会だよりの中に答えがありますので最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で3名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛

《しめきり》 平成 26 年 2 月末日 (当日消印有効)

～議会だより 34 号クイズの答え～ ① 298 ② 12 ③ 議員定数・報酬調査検討

## 編集後記

明けましておめでとうございます。皆様のご健勝を心から祈念いたします。

先に発刊した議会だより 34 号では鱒沢小学校の元気な子供たちのさつま芋掘りの様子を表紙で紹介させていただきました。これからも「SL 銀河号が走る街 遠野」の未来をつくる子どもたちを、できる限り多く紹介したいと思えます。

まだまだ未熟な編集委員一同ではありますが、新しい年のはじまり「ウマイ」と納得していただけるような紙面づくりに意気込んでいます。  
(由紀夫)

### 【広聴広報常任委員会】

委員長	瀧澤 征幸
副委員長	菊池 由紀夫
委員	佐々木 大三郎
委員	多田 大三郎
委員	瀧本 孝一
委員	萩野 幸弘

【お詫び】  
とおの議会だより 34 号において、製本作業時のミスにより、一部に誤ったページが混入された議会だよりを配布してしまいました。今後二度とこのようなことが起こらぬよう徹底して参ります。皆様にご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。  
株式会社 東海印刷所

次の定例会は、2月28日(金)から3月14日(金)までの17日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。

## 議会への提言をお待ちしております